

＜本年度会長テーマ＞ 『みんなで創りみんなで味合うロータリーの愉悅（よろこび）』

例会日／毎週木曜日
会 長／青木 幹丸

例会場／リーガロイヤルホテル広島
幹 事／山口 洋充

Vol.595

2021年5月13日（木） 第996回例会
3階 「安芸の間」

会長時間



皆さんこんにちは。3週間ぶりにお目にかかりますと、季節は初夏を通り越して梅雨の前触れのような気候に変化し、新型コロナウイルス感染者数も第4波ということで増加傾向が著しくなっております。昨年のこの時期と同様、例会の継続に慎重な判断が求められる状況下にあります。このような将来幾度となく繰り返されるであろう状態を見越して、本日は、まことに時宜を得たというか、若干遅きに失した感もありますが、ズーム会議を利用した例会をシミュレーションしながら、その功罪（利点・留意点）について会員の皆さんのご意見をいただくフォーラムを開催します。後ほど宜しくお願いいたします。

先日5月1日には、病氣療養中の長神会員誕生日に、会員、事務局員さんの心尽くしの花籠を清家会員の安藤花店から届けてもらいました。それに対して、ご本人のお気持ちを汲まれ奥様からお礼のメッセージをいただいております。要旨を申し上げます。

この度は誕生日のお花を届けていただきありがとうございます。本人はリハビリの方やヘルパーさんに助けていただいて、一日一日を過ごしている状態です。

5月13日に画像配信をされると伺いましたが、昼と夜が逆転しているようで、昼間うとうとしている時間が長く、皆さまのお話を聴かせていただくのは難しいように思います。ただ今回のご配慮には、会員、事務局員さまのお気持ちに感謝あるのみです。概ねこんなところでしょうか。

長神会員には休会中ではありますが、次年度に向けてもクラブに在籍する意思表示をしてくださっておりますので、わたしたちもそのお志を汲んで奉仕に勤しみたいと思います。

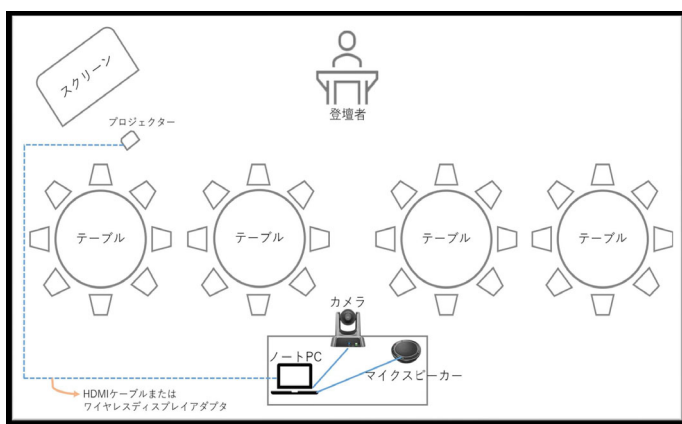
今日のことばは、先日大阪府の厳しい医療現場の最深部で働く看護師さんが吐露された心情を聞いて、頭に思い浮かんだ仏教用語です。「畢竟依」（ひっきょうえ）と読みます。

大阪ではいま毎日数十人単位の方が新型コロナウイルス感染症で亡くなります。その死の看取りから遺体の処置までが、そうした看護師さんたちの手に委ねられるわけです。勤務時間帯はもとより時間外まで重症患者さんたちに関わり、その傍らで亡くなる人たちの最後をも見届ける。重労働かつ自ら感染の恐れもある環境の中で、身体を張って応えるその源は、看護師さんとしての職業人の魂と患者さんの生命の尊厳性に対する畏敬の念だと思います。

厚生労働省が発表している「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方 及びその疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等 に関するガイドライン」なるものがあります。それに基づいて、粛々と遺体の処置が施されるのですが、いまの現場では、臨終に立ち会い、その遺体を密閉性納体袋というシートに収め納棺するまでが看護師さんの特別な仕事になっているわけです。家族・親族も、まず本人さんたちが感染者である場合が多いし、そうでなくても接触を避ける意味では見送りもままなりません。会わせてあげたいのはやまやまというジレンマを抱えながら、遺体を葬祭業者に委ね茶毘に附すまでの極まりまで、患者に寄り添う（寄り添わざるを得ない）のが看護師さんだったのだな、という意味で「畢竟依」ということばを思い起しました。本来は最終的な抛りどころという意味で、仏さまそのものを指す別名なのですが、医療従事者の人たちの厳しい労働環境の

ほんの一端を垣間見る時、崇高さのあまり思わずそのことばを使わずにはおられませんでした。特定の人たちに負担が片寄る、いわば社会の歪み（それによる分断）が解消していくのは、いつのことになるのでしょうか。

「クラブフォーラム」 リモート例会の功罪と導入によって どう変わる!?クラブの未来像



- オンライン出席を利用できる対象者の範囲について
- Zoom運営担当者について
- 休会者のオンライン出席利用について
- オンライン出席頻発の可能性について
- 安佐ロータリーの特徴との共存について

忌憚ないご意見が多々あり、30分ではとても時間が足りない内容でした。

5月13日（木）例会を開催いたしました。

本日は、第1例会なので皆で誕生月、記念月のお祝いをしました。

それと、米山奨学生 羅 ショクンさんをゲストに迎え、奨学金の授与が行われました。羅さんも徐々に安佐RCに馴染んできたようです。

本日の卓話は「クラブフォーラム」に変更となり、「リモート例会の功績と導入によってどう変わる!?クラブの未来像」と題して、例会のZOOMを利用したオンライン出席導入について話し合いました。他クラブでは、既にオンラインを導入しているところもあるそうですが、私たちの広島安佐RCは、ようやく一步を踏み出したところです。

ミーティングでは、様々な忌憚のない意見が出ました。ロータリークラブの本質は例会へ出席することなので、まだまだ全員賛成とはなりません。現在のコロナ禍という状況下においては必要な1つの手段だと思います。

どのようなカタチを取るにせよ、何らかで用いるようになると思います。

このような話し合いをした矢先に、広島県に緊急事態宣言が発令されます。

私たちの生活はどんどん変わっていきます。コロナ禍からコロナ終息後も、元に戻る事はないと言われています。これから先、どう生きていくかを、この際、考えてみようと思う今日の頃です。

GWが明け久しぶりの例会でしたが、残念ながら来週からしばらく休会になります。緊急事態宣言が明け、また皆さんと再会できることを願っています。

(広報・会報委員)



5月13日(木) 第 996 回

「クラブフォーラム」
リモート例会の功罪と導入によって
どう変わる!?クラブの未来像

幹事報告

- BOX配布物
 - ・ガバナー月信とロータリーの友
 - ・4月分の個人別出席一覧
 - ・本日のクラブフォーラムの資料
 - ・地区大会オンライン開催中止のご案内
 - ・在広ロータリークラブ例会の休会・例会取り止めのお知らせ
- 休会（例会取消）

※全てメイクアップ受付はございません。
在広ロータリークラブ例会の休会・例会取り止めのお知らせをご参照下さい。
- お知らせ
 - ・5月16日(日)にWEBにて開催予定でした2020-21年度地区大会は中止となりました。後日、収録し編集したものをWeb上にて視聴できる形になります。（6月上旬予定）

出席報告 第994回 4月15日

会員数	21名	出席率	85%
出席	15名	ご来賓	1名
欠席	6名	ご来客	0名
メーカー	2名	ゲスト	1名

ひっきょうえ
畢竟依

ニコニコ箱

¥55,000 累計¥620,340

会員記念日（5月）

☆お誕生日おめでとうございます

- ・八條 範彦会員(S31. 5. 11)
高齢者の仲間入りです。先輩方宜しくお願い致します。誕生日は日赤で過ごしました(人間ドック)スマイルBOX5！大変です(笑)
- ・山岡 稔会員(S36. 5. 26)
早いもので今月で60才になります。80才までは元気で健康で仕事、ゴルフがしたいと願っています。
- ・長神 憲一会員(S27. 5. 1)
- ・森本 真治会員(S48. 5. 2)
- ・山口 洋充会員(S54. 5. 29)

☆結婚記念日おめでとうございます

- ・湯本 隼士会員(H25. 5. 4)

☆パートナー誕生日おめでとうございます

- ・谷 勝美会員（澄子：16日）
元気で頑張ってくれております

☆入会月おめでとうございます

- ・奥芝 隆会員(1999. 5. 27)
- ・清家 俊一会員(1999. 5. 27)

☆創業日おめでとうございます

- ・青木 幹丸会員
(浄土真宗本願寺派専教寺：1594. 5. 21)
伝統と承継・・・孫まで来てくれたのもうしばらくは大丈夫かな。
- ☆長神 憲一会員
御誕生日のお花、会員の皆様、感謝いたします。

崇徳学園 I AC募金

5月分

松岡 與吉・奥芝 隆・岡本 忠文・谷 勝美

合計 4,000円

総合計 57,000円



2021年5月20日(木)
例会取消

会長時間

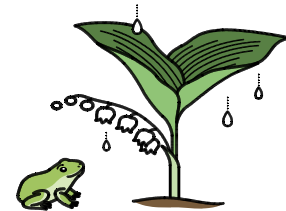
皆さんこんにちは。観測史上二番目に早い入梅ということで鬱陶しい日々が続きます。緊急事態宣言発令下ですから、どの会員さんも多かれ少なかれ影響を受けておられることでしょう。気分が滅入ってしまいそうですが、6月以降に希望の光を仰ぎながらこの局面を乗り越えていきたいものです。

昨年あたり夏場を前にして、紫外線と湿気はウイルスの感染力を弱めるのだと言われておりました。何よりもワクチン接種が喫緊の課題です。ワクチン配給、接種方法、予約手続きなど問題山積で遅々として進みませんが、ジッと待っていれば日本のことですから、いつか国民の隅々まで「公平に」行き渡るはずですよ。7月末は空論としても。

先週のフォーラムで皆さんにいただいたご意見はたいへん参考になりました。リモートによる画像・音声配信は、例会場に集まることが難しい状況において、なお例会を休会とせず開催に努めていく「一つの選択肢」として有用であるとの認識を得ました。欠席者には、休会者には、遠隔地の卓話者にはと、まだ整理しなければならないことは多いですが、まずセーフティ・ネットを張っておくという意味で、来月学習の機会を設けます。

ズーム会議による例会などを突き詰めて議論してみると、改めて平時の例会(meeting)の意味を考えさせられます。かつて、クラブ開創期に陵北の重鎮会員さんから聞いた言葉を書いたことがありました。例会は、「寄って、歌って、飯食って、話を聴いて、帰る。」会員さん同士が顔を合わせ(meet)、経済や仕事のこと、プライベートなことなどいろいろな語らいの中で、忙中ホッと息をつけるような機会は貴重です。ロータリーが一週間のルーティンに組み込まれてしまえば、なおのことそのひとは恋しく感じます。実際出会う、その距離感、空気感が良いのでしょう。これはPC画面では味合えませんか。当たり前が突き崩されて初めて、普段何気なく接してしまう例会開催の有難さが身に沁みます。

次に予定される例会までまだ二週間あります。たいへんなご時世ですが、どうか皆さんお身体を大切に、また元気にお目にかかることを楽しみにしております。



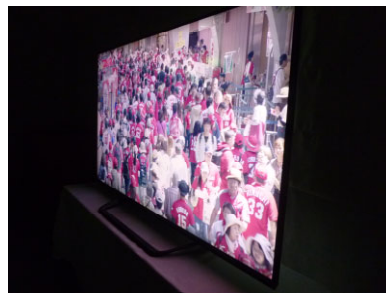
～思い出～

昨年の5月は例会が全て取消となり、5月の会報自体がありません。

一昨年、2019年5月16日例会では、当クラブの創立20周年記念の全ての行事を終えたため、リニューアルされた広島平和記念館を訪問し、クラブから寄贈した椅子に座り、館長のお話を聞きながら、見学させて頂きました。



また、5月30日の例会では、NHK広島支局の局長様をお招きし、8Kテレビをご紹介して頂き、来る東京オリンピックに向け、映像の凄さに期待をしたものです。



当時、3密という言葉は存在していませんでした。